

発表日時：平成28年4月28日(木) 10:00
(記者発表)

第2回『測量・地理空間情報イノベーション大会』の概要について

公益社団法人日本測量協会(会長 ^{やぐちあきら} 矢口 彰)は、別紙資料のとおり第2回『測量・地理空間情報イノベーション大会』を開催します。

- 資料—1 「測量・地理空間情報イノベーション大会」開催主旨
- 資料—2 「第2回測量・地理空間情報イノベーション大会」概要
- 資料—3 「第2回測量・地理空間情報イノベーション大会」プログラム
- 資料—4 「会場案内」

(問い合わせ先)

公益社団法人 日本測量協会 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18
白山NTビル

住田理事 電話03-3815-5751 (代表)

高橋測量技術教育部長 電話03-5684-3355 (直通)

『測量・地理空間情報イノベーション大会』開催主旨

■ 開催主旨:

公益社団法人日本測量協会は、9,800名を超す正会員を有し、5,000名近くの地理空間情報専門技術者の認定者が登録されている。しかしながら、正会員や地理空間情報専門技術者らの多くが会して、測量・地理空間情報技術に関する最新動向等を討議する場がこれまでなかった。また、本協会には本部と全国に10支部があるが、全国の会員が一堂に集まる場もなかった。

過去においては、毎年、全国測量技術大会が当協会を含む測量関連4団体の共催で測量機器等の展示とシンポジウムの内容で開催されたが、現在では政府主導の産学官連携によるG空間EXPOに統合され、これからのG空間社会やそのための技術等について、広く国民に発信する場として環境が整備されている。

しかしながら、「測量・地理空間情報」と言った技術をより深耕させ、さらにそれらの技術動向等をプロ向けに発信していく場として十分とは言えないことも事実である。

このような現状を鑑み、「測量・地理空間情報」に関する全国ベースで技術的な情報を発信する場を構築することが必要であり、9,800名を超す正会員と5,000名近くの地理空間情報専門技術者、280名近い空間情報総括監理技術者、さらには広くこの業界の関係者らが集うことができる「測量・地理空間情報分野の大会」すなわち、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を当協会の公益事業の一環として開催する。

なお、「測量・地理空間情報イノベーション大会」は、平成26(2014)年7月14日に「ブレ・イノベーション大会」(測量年金会館)、平成27(2015)年6月23~24日に「第1回イノベーション大会」(東京大学弥生講堂)をそれぞれ開催してきた。

■ 「測量・地理空間情報イノベーション大会」と称するねらい:

イノベーションは「技術革新」と訳されている。他に例を見ない独自性の高い技術を開発していくことは、測量・地理空間情報分野においても必要な目標である。

測量・地理空間情報分野においてもイノベーションを推進することが、公益社団法人である本協会の重要な将来構想の一つと考えられる。

加えて、イノベーションを冠した大会であれば、技術者に限らず、経営者も含めた広い層から様々な関心をもって参加してもらえるものと期待される。また、測量・地理空間情報技術に関連して、大学、研究機関、民間企業等で推進しているイノベーションを発表できる場を提供していくことも今後は可能となる。

■ 「測量・地理空間情報イノベーション大会」で扱う主な発表内容:

- ◇新技術・注目技術等の最新動向に関する発表
- ◇測量・地理空間情報に関する応用事例に関する発表
- ◇新製品・新商品等に関する発表（ベンダーフォーラム的な最新情報の発信）
- ◇新事業・新市場等に関する発表
- ◇新研究・新開発・新発明（特許等）・新手法・新技術などに関する発表
- ◇人材育成・人材教育・キャリアパス等に関する発表
- ◇起業やマネジメント等に関する発表
- ◇その他

以上のように、「技術」と「ビジネス」をキーワードにして、“技術とその動向”、“技術者づくり”、“新たな測量・地理空間情報事業”など、広範な発表を扱う。

なお、当協会は「日本学術会議協力学術研究団体」であり、学術性、新規制の高い論文の発表については、「応用測量論文集」の発行と「応用測量技術研究発表会」を別途開催している（平成27（2015）年の「第1回「測量・地理空間情報イノベーション大会」では「応用測量技術研究発表会」も同大会に含めて実施した）。

「第2回測量・地理空間情報イノベーション大会」概要

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを利用した新ビジネスの展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催する

■開催日時 : 平成28年6月14日(火)～15日(水)

■大会会場 : 東京大学伊藤国際学術研究センター

東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内

東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅下車 徒歩8分

都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅下車 徒歩6分

■主催 : 公益社団法人 日本測量協会(日本学術会議協力学術研究団体)

■共催 : スペーシャリストの会(空間情報総括監理技術者の会:SPの会)
ジオメトリストの会(地理空間情報専門技術者の会:GMの会)

■後援 : 国土交通省 国土地理院

第2回「測量・地理空間情報イノベーション大会」へのご参加については、
4月11日(月)から当協会のホームページで事前登録を開始します。

第2回「測量・地理空間情報イノベーション大会」 開催のご案内

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを利活用した新事業の展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、昨年に引き続き第2回「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催します。

■主催：公益社団法人 日本測量協会
(日本学会会議協力学術研究団体)

■共催：スペシャリストの会
(空間情報総括監理技術者の会：SPの会)
ジオメトリストの会
(地理空間情報専門技術者の会：GMの会)

■後援：国土交通省 国土地理院

■日時：平成28年6月14日(火)～15日(水)

■会場：東京大学伊藤国際学術研究センター
(東京都文京区本郷7-3-1)

- ・ホール(B2F)：伊藤謝恩ホール(定員500名)
多目的スペース(定員100名)
- ・ギャラリー(B1F)：ギャラリー1(定員80名)
ギャラリー2(定員50名)

■当協会支部への同時中継：

伊藤謝恩ホールでの講演は当協会各支部(関東を除く9支部)に同時中継します。支部会場にて受講も可能です。

東京大学伊藤国際学術研究センター



会場案内図

■アクセス：東京メトロ丸ノ内線
「本郷三丁目」駅下車 徒歩8分
都営地下鉄大江戸線
「本郷三丁目」駅下車 徒歩6分



東京大学伊藤国際学術研究センター

第2回「測量・地理空間情報イノベーション大会」プログラム

		伊藤謝恩ホール (500人)	多目的スペース (100人)	ギャラリー1 (80人)	ギャラリー2 (50人)
日	時間	題目	題目	題目	題目
6月14日(火)	10:00	これからの測量・地理空間情報のビジネス動向を知る(講演3編)	今の測量・地理空間情報の技術を知る(ポスターセッション(約60件))	CPDの現状とこれからの戦略を考える(講演4編)	総合評価時代を生き抜く術を知る(スペシャリストの会シンポジウム)(講演4編)
	12:00	昼休み			
	13:00	休室	ポスター説明	休室	
	14:00	基調講演	休室		
	15:00	測量・地理空間情報技術のイノベーションを実現する(講演4編)	今の測量・地理空間情報の技術を知る(ポスターセッション(約60件))	外部から見た測量技術者の「あるべき姿」を聞く(講演4編)	測量・地理空間情報の最新情報を知る(バンダーフォーラム8編)
	17:30	懇親会			
	17:45				
			伊藤謝恩ホール (500人)	多目的スペース (100人)	ギャラリー1 (80人)
日	時間	題目	題目	題目	題目
6月15日(水)	10:00	今、話題の注目技術を知る(その1)(講演4編)	3次元地理空間情報の最前線を知る(講演4編)	高分解能衛星の最前線を知る(講演4編)	測量・地理空間情報におけるプロの世界を知る(講演3編)
	12:00	昼休み			
	13:00	今、話題の注目技術を知る(その2)(講演5編)	UAVによる3次元計測の最前線を知る(講演3編+パネルディスカッション)	GNSSの最前線を知る(講演5編)	明日の担い手を育む(講演5編)
	16:00				

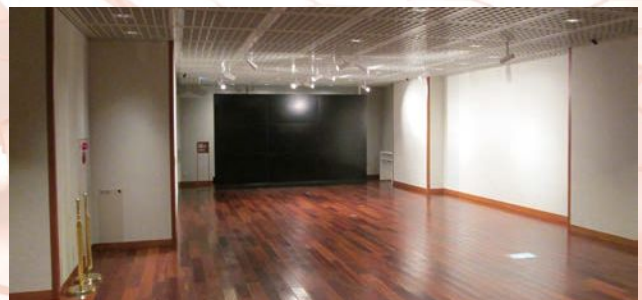
平成28年6月14日(火)

参加申し込み受付は4月11日からとなります。

時間	伊藤謝恩ホール(500人)	多目的スペース(100人)	ギャラリー1 (80人)	ギャラリー2 (50人)
10:00-10:15	開会の挨拶(ホール)			
	これからの測量・地理空間情報のビジネス動向を知る	今の測量・地理空間情報の技術を知る(ポスターセッション)	CPDの現状とこれからの戦略を考える	総合評価時代を生き抜く術を知る(スペシャリストの会シンポジウム)
10:15-10:50	Yahoo!カーナビの方向性と利活用について 廣瀬典和(ヤフー株)	UAV:20 MMS:5 レーザ:11 高分解能:6 GNSS:9 その他:9 ITS, 情報化施工, CIM他	10:15-10:40 計画機関の対応動向 桐内 勉(CPD協議会)	10:15-10:40 講習会アンケートから見た現状を知ろう 林 義政(株パスコ)
			10:40-11:10 関東地方整備局における取り組み 国土交通省関東地方整備局	10:40-11:10 総合評価方式に求められるスキルを磨こう 岡本芳樹(株パスコ)
10:50-11:25	グーグルマップを活用した位置情報アプリケーションの最前線 丸山智康(グーグル株)		11:10-11:35 入札・契約における国土地理院の取り組み 国土交通省国土地理院	11:10-11:35 提案書作成前の準備を理解しよう 瀬戸島政博(公社)日本測量協会)
11:25-12:00	マルチGNSS時代のネットワークRTK配信とQZSS補正情報 細谷素之(株ジェノバ)		11:35-12:00 朝日航洋におけるCPD促進の取り組み 熊谷 清(朝日航洋株)	11:35-12:00 提案書の書き方のコツを知ろう 中舎 哉(中日本航空株)
12:00-13:00	昼 休 み			
13:00-14:00	休 室	ポスター説明	休 室	
14:00-15:00	基調講演	休 室		
	レジリエンスの向上をめざした新しい防災の推進 林 春男 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)			
15:00-15:15	休 憩			
	測量・地理空間情報技術のイノベーションを実現する	今の測量・地理空間情報技術を知る(ポスターセッション続き)	外部から見た測量技術者の“あるべき姿”を知る	測量・地理空間情報の最新情報を知る(バンダーフォーラム)
15:15-15:45	スマートコンストラクションについて 四家千佳史(コマツ)	ポスターセッション(継続)	GIS専門誌の編集者から見た測量技術者への期待 遠藤宏之(株ネクストパブリッシング)	GNSS衛星と高精度受信機の動向(株)トプコン (F-1)
			業界紙の女性記者から見た測量技術者の役割—学会、協会の枠を越えた横断的な技術(向上)の必要性— 田嶋千文(日刊建設通信社)	3Dレーザースキャナーの高度利用(仮) TIAサヒ株 (F-2)
15:45-16:15	海中プラットフォームシステムとレーザ計測(仮) 巻 俊宏(東京大学)		Introduces of new Trimble Center Point RTX correction service(仮) 株ニコン・トリンプル (F-3)	Pegasus: Backpack ウエアラブルデバイスによる屋内外計測ライカジオシステムス株(F-4)
16:15-16:30	休 憩			
16:30-17:00	測量業界と著作権 甲斐哲平(ノースプルー国際特許事務所)	ポスターセッション(継続)	測量技術者が果たすべき役割と使命—取材の第一線から見た課題と可能性— 脇坂章博(株建通新聞社)	小型固定翼UAV製品seseFly eBeeシリーズ紹介 ジオサーフ株 (F-5)
			技術者のあるべき姿に向けて 那須 充(アジア航測株)	RIEGL TLS・ULS・MMS カテゴリ別最新動向(仮) リーグルジャパン株 (F-6)
17:00-17:30	ソクジョの会今後の活動方針(女性の技術力向上委員会)			無人ヘリでのレーザ計測と無人艇による深淺測量の紹介(仮) ヤマハ発動機株 (F-7)
17:45-	懇 親 会			



ホール室内



ギャラリー室内

参加申し込み受付は4月11日からとなります。

平成28年6月15日(水)

時間	伊藤謝恩ホール(500人)	多目的スペース(100人)	ギャラリー1(80人)	ギャラリー2(50人)
	今、話題の注目技術を知る(その1)	3次元地理空間情報の最前線を知る	高分解能衛星の最前線を知る	測量・地理空間情報におけるプロの世界を知る(ジオメトリストの会シンポジウム)
10:00-10:30	計測の最前線 河村幸二(街スバーポイントリサーチ)	測量が変わる・測量が変えるI-ConstructionとCIMとGIS 井上 修(オートデスク株)	国産衛星の活用事例と市場動向 渡川真規(株パスコ)	本セッションの狙い 住田英二((公社)日本測量協会)
10:30-11:00	プラットフォーム化する地理空間情報と国内外の動向 瀬戸寿一(東京大学)	MMS最前線 道路計測車両の紹介 那珂通大(ニチレキ株)	高分解能衛星画像の活用事例と展望 若松健司(株NTTデータ)	UAV取組事例と討議 1. UAVによる空撮および三次元モデルを用いた河道内樹木群の現況把握と管理手法 2. UAVを活用した河川堤防のひび割れ調査 3. 記念艦三笠の甲板部分の3次元形状データ作成 4. UAVを用いた計測業務に関する検討
11:00-11:30	屋内位置情報サービス(仮) 南 幸弘(アジア航測株)	GNSS不要、簡便なモバイルレーザ計測について 中舎 哉(中日本航空株)	高分解能衛星による地図作成の検討状況について 国土交通省国土地理院	ジオメトリストの会(GMの会)
11:30-12:00	超小型衛星コンステレーションによる毎日全球観測プラットフォームの構築 中村友哉(アクセルスペース株)	3次元都市モデルの構築と活用事例 山崎廣二(アジア航測株)	JSiが取り扱う最新地理空間情報のご紹介(仮) 小関由和(日本スペースイメージング株)	MMS取組事例と討議 1. MMSを用いた土木出来形計測 2. 鉄道MMSに向けた開発 3. MMSを活用した屋外広告物調査 4. MMSによる道路ストック総点検(路面性状調査)
12:00-13:00	昼 休 み			
	今、話題の注目技術を知る(その2)	UAVによる3次元計測の最前線を知る	GNSSの最前線を知る	明日の担い手を育む
13:00-13:30	UAVを用いた公共測量マニュアル(案)及び安全基準 国土交通省国土地理院	UAVを活用した土木イノベーション 杉浦伸哉(株大林組)	アジア地域における電子基準点の展開 今給黎哲郎(国土交通省国土地理院)(L-1)	測量に関する実践的な技術と幅広い知識の習得とめざして 尾崎嘉彦(京都市立伏見工業高等学校)(N-1)
13:30-14:00	ICTとG空間情報で新しい森林ビジネスを作る 寺岡行雄(鹿児島大学)	本格的なUAV活用における運用の現状と課題 鶴飼尚弘(株ジェノバ)	GNSSとICT(情報化施工)―国内及び海外での事例紹介― 北山 孝(西尾レントオール株)(L-2)	測量専門学校の現状と教育への取り組み 土田俊行(中央工学校)(N-2)
14:00-14:30	地理空間情報を活用したリアルタイム津波浸水被害推定 村嶋陽一(国際航業株)	UAVの公共測量への活用事例(仮) 川村義和(株アスコ大東)	アジア地域におけるGNSS測量と最新受信機(仮) 加藤文典(株トプコン)(L-3)	知育と徳育 小泉俊雄(千葉工業大学)(N-3)
14:30-14:45	休 憩			
14:45-15:15	道路・構造物維持管理におけるポイントクラウドの利活用(仮) 大伴真吾(朝日航洋株)	パネルディスカッション(拡がる利活用と技術的制約的課題)	オープンソースRTKLIBによる1周波RTK測位性能の実力 岡本 修(茨城工業高等専門学校)(L-4)	企業内大学の事例について 松谷泰生(国際航業株)(N-4)
15:15-15:45	ALB(航空レーザ測深)による計測事例のご紹介(仮) 川村 裕(株パスコ)		衛星測位(高精度測位)の新たな利活用(仮) 石井 真(測位衛星技術株)(L-5)	中小企業における人材育成と事業承継 北原良彦(株地域みらい)(N-5)
15:45-16:00	まとめ、閉会の挨拶(ホール)			

第2回測量・地理空間情報イノベーション大会ポスターセッション出展者一覧

平成28年4月26日現在

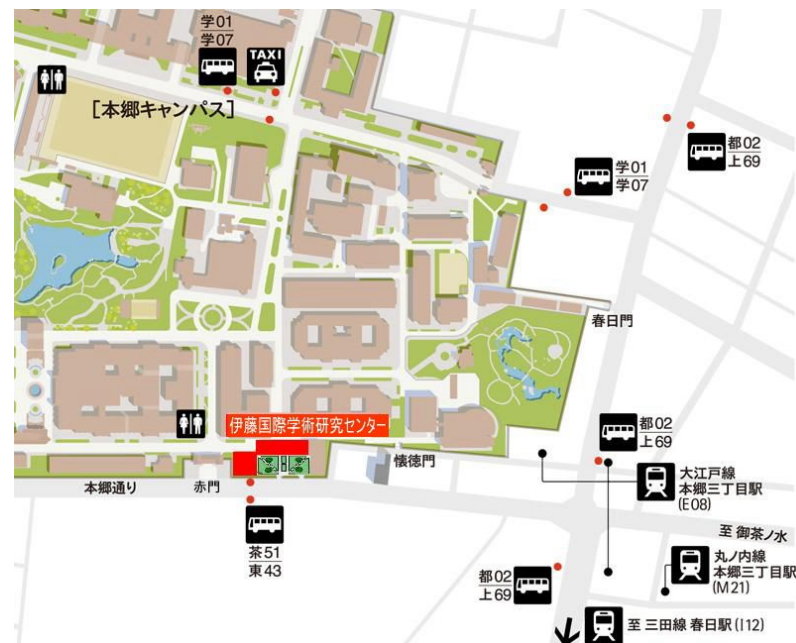
部門	社名	タイトル
UAV部門 21	リーグルジャパン(株)	RIEGL レーザースキャナー最前線(UAV,MMS,TLS)
	テラドローン(株)	UAVによる高精度測量事業のご紹介
	日本気象(株)	上空の風予報でドローン飛行判断を支援する「お天気クラウド」
	日本インターグラフ(株)	IMAGINE UAVのご紹介
	(株)計測リサーチコンサルタント	
	(株)アスコ大東	
	金井度量衡(株)	
	(株)イメージワン	
	(株)フォーラムエイト	
	ルーチェサーチ(株)	日本初UAV「SPIDER-eX」を用いた航空レーザ計測
	(株)ハヤテ・コンサルタント	UAVによるダム湖および原石山の多視点画像計測と3Dモデルの作成
	(株)荒谷建設コンサルタント	UAVによる空撮からの3D点群データの作成・活用技術と運用事例及び今後の展開
	(株)かんこう	UAVを用いた空中三角測量による地図データ修正
	(株)タックエンジニアリング/ジオサーフ(株)	UAV(回転翼・固定翼)による高精度3D計測
	(株)ナカノアイシステム	UAVを活用した数値地形図データ整備
	(株)エンルート	i-Constructionにおけるドローンの役割と可能性
	(一社)NABUC	
	(株)構造計画研究所	ドローン間通信技術:ドローンdeリレー
	晃洋設計測量(株)	無人航空機専用飛行場とちぎUAVフィールド
	(株)中庭測量コンサルタント	UAVの自立飛行の開発
	(株)エアロ・フォト・サービス	
MMS部門 5	(株)ウエスコ	3D点群処理ソフトウェア MOMOS
	第一航業(株)	精度向上の探究
	(株)テイコク	全周囲カメラによる高精度移動体計測システム
	アイサンテクノロジー(株)	
	(株)フジヤマ	MMSの活用
地上レーザ部門 6	(株)テクノス	
	扇精光コンサルタンツ(株)	文化財における3次元計測の活用
	(株)みずず総合コンサルタント	3Dレーザースキャナーシステム
	東日本総合計画(株)	地上型3Dスキャナーによる地形計測
	TIアサヒ(株)	
航空レーザ部門 6	(株)オーピーティー	写真計測用ソフトウェア Agisoft
	(株)シン技術コンサル	地貌図～微地形を捉えた航空レーザ計測データの表現～
	(株)タナカコンサルタント	航空レーザ計測のご紹介
	(株)エイテック	
	昭和測量(株)	UAV搭載型レーザースキャナーを用いた地形計測技
高分解能衛星部門 4	日本スペースイメージング(株)	
	(株)NTTデータ	AW3D®全世界デジタル3D地形データ
	(株)サテライトイメージマーケティング	
	(一財)リモート・センシング技術センター	
GNSS部門 10	(公社)日本測量協会	GPS精密解析情報提供サービス
	(公社)日本測量協会	電子基準点リアルタイムデータ提供サービス
	電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会	電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会
	(株)ジェノバ	マルチGNSS時代のネットワークRTK配信とQZSS補正情報
	国土交通省国土地理院	
	国土交通省国土地理院	
	ライカジオシステムズ(株)	
	日立造船(株)	
	(株)コア	準天頂衛星の補強信号を用いたcm級測位
その他部門 8	(株)岩根研究所	映像がそのまま3D地図になる
	計測ネットサービス(株)	3次元変位計測システム【モバイルダムシス】
	ビジオテックス(株)	米国製Sonar Wiz ソナーデータマッピングソフトウェアとベルギー製Pythagoras CAD+GISソフトウェア
	福井コンピュータ(株)	
	(株)カクマル	
	(有)牛方商会	高精度・長距離測定用距離計
	タマヤ計測システム(株)	タマヤ測量機器(仮題)
(株)千葉測器	一番身近なITパートナー千葉測機グループ(仮題)	

◆開催日時:平成28年6月14日(火)・15日(水) 10時~17時30分

◆開催場所:東京大学伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール・多目的スペース・ギャラリー1・ギャラリー2
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL03-5841-0779 運営室



■伊藤国際学術研究センター



■アクセス地図

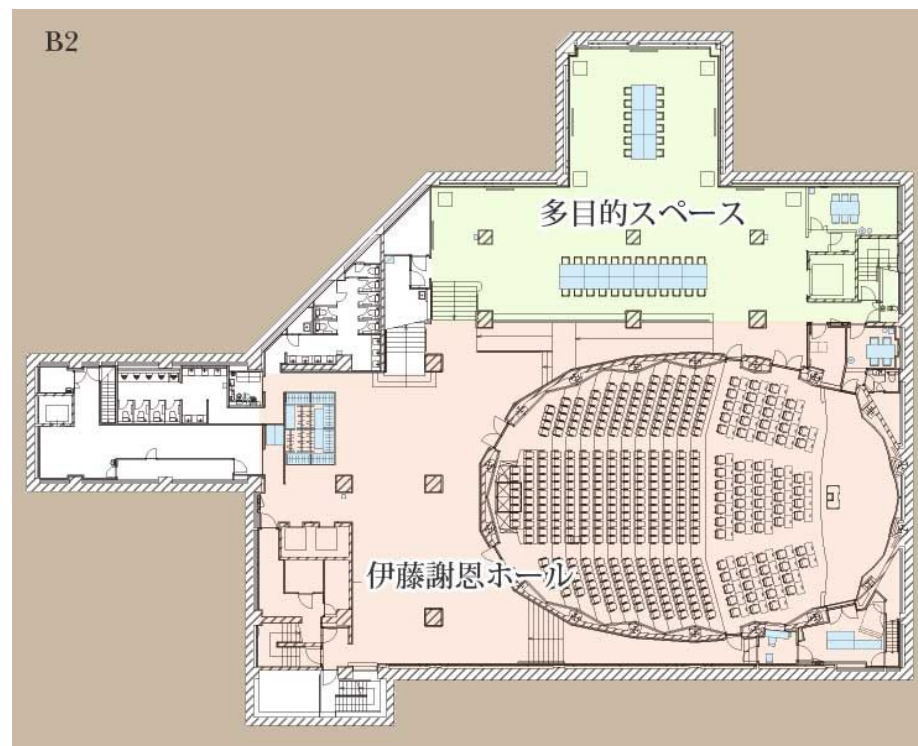
■会場写真・図面地下2階



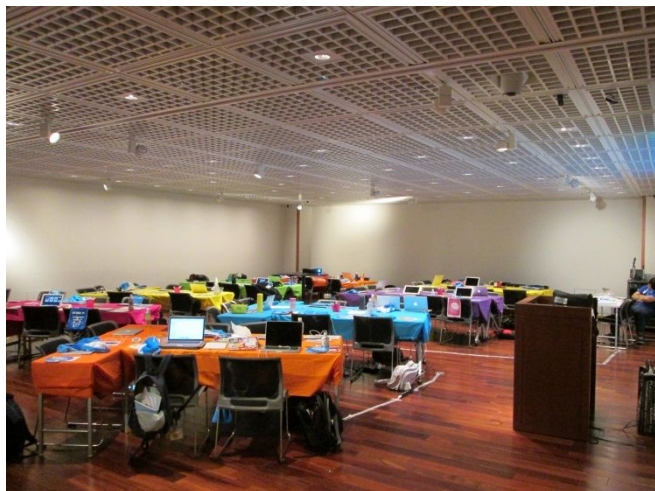
■伊藤謝恩ホール



■多目的スペース



■会場写真・図面地下1階



■ギャラリー1



■ギャラリー2

